

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2024年2月10日

No 434

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

物価高補う大幅賃上げを

リモート含め51人が出席

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、1月20日（土）午後1時15分～4時55分にかけて都内「北多摩西支部教育会館」3F大会議室にて、「24春闘、電機の集い」を開催し、15企業33職場・4団体から51人（昨年50人）が参加して、会場参加が増加となり、リモートは21人（昨年35人）でした。

司会は電機懇相原事務局次長が行い、電機懇今井代表は主催者挨拶で「物価高騰で連合要求の総額5%の賃上げでは足りない。大幅賃上げを求めて職場の組合を激励しよう」と呼びかけました。

電機・情報ユニオンの米田委員長が連帯挨拶で「電機の職場では、岸田政権が打ち出す大軍拡や原発推進に、振り回されており、国民本位への転換を求めよう」と強調しました。

24春闘で15%・5万円以上賃上げ

第1部は、電機懇谷口事務局長が、24春闘「要求アンケート」190枚（昨年185枚）の集計結果の特徴については「生活の苦しさ」が63%（昨年63%）、生活維持に必要な金額の加重平均で5万3679円となり、賃上げ交渉では「物価上昇見合」が70%あったなど詳細に報告し、電機懇井坂政策委員長から電機懇「24春闘の提言」を詳細に報告をしました。（骨子は2・3Pに掲載）



「ジョブ型」雇用の問題点と取り組み

第2部は、井坂政策委員長の「電機の処遇制度改悪について」を報告し、NEC懇は「能力改善プラン(PIP)と呼ばれるリストラが実施されている」。ルネサス懇は「ポジションを削減して指名解雇に等しい退職強要が強行されている」。日立懇は「6月1日から移行すると発表した。GPM面談に沿って評価され、日立労組は評価で処遇が現状維持と減額される制度を維持している」。討論では、人間たる生活とは何なのか、個人の人権をどう守るかを職場で訴えて行こうとなった。

谷口事務局長がまとめを行い、今後とも職場闘争を強めようと訴え、高田副代表が団結がんばろうで閉めました。

今月号の紙面

- ① 24春闘「電機の集い」を開催
- ② 24春闘・電機懇提言のポイント
- ③ 24春闘・電機懇提言のポイント
- ④ 24春闘で「経団連」包囲行動
電機連合の24春闘要求内容骨子
- ⑤ 「東芝の会」新春の年次総会開催
- ⑥ ラブラース「北海道旅行」山縣さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 24春闘統一ビラ配布。春闘集業界団体要請行動。集積回路。